

# 31

# ディスクゴルフ

**特徴** ゴルフのボールの代わりにディスク（フリスビー）を  
カップ代わりにのゴール（バスケット）に入れる競技。

**人数** 1人～制限なし

**場所** 屋 外



## 貸出用具

ゴール 5ゴール

高さ165cm×直径65cm

約15kg



ディスクは(9. フライングディスク)を参照

# ルール

## ディスク・ゴルフ

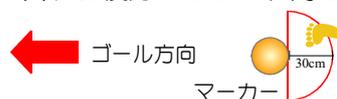
### ○ゴールにより少ない投球で入れた人の勝ち! 転がしてもすべらせてもOK!

#### スローイングの順番

- (1) 1組は通常4名で行う。スタート時のティースローは、任意に定められた順番で行う。
- (2) 進行中のスローイングは、投数に関係なくゴールより最も遠く離れたプレーヤーから行う。
- (3) 2ホール目からは、前のホールで最も成績のよかったプレーヤーから投げる。前の成績で同成績なら、その前、さらにその前とさかのぼって投球順を決める。

#### スローイングの位置

- (1) ティースローは、ティースローエリア内から足が出てはいけない。ただし、スロー後は踏み越えてもよい。
- (2) 落下したディスクとゴールを結ぶ直線上のゴール寄りに、ディスクと接するようにマーカーディスクを置く。
- (3) 2投目以降のスローイングの時は、片足がマーカーディスクの後方30cm以内に入っていないといけない。スロー後は、マーカーディスクを踏み越えてもよい。



- (4) ゴールより10m以内のパットングにおいては、マーカーディスクを踏み越えることは違反。また、重心を支えるサポーターポイントが前へ移動すること、前方へ倒れ込みながらのフォーリングパットも違反。誤解を避けるために、パット後はその場でバランスのとれた状態を示す必要がある。ペナルティーは1投プラス。

#### OB区域にディスクが落下したとき

- (1) ディスク全体がOB区域に出た場合に、OBとする。この場合、OBラインを切った位置より、フェアウェイ側に垂直に1m以内の場所からスローする。
- (2) ペナルティーとして1投プラスされる。

#### 地面から2m以上の高さのところにディスクが止まったとき

- (1) そのまま地面に下ろし、しかもゴールに近寄らない最も近いプレーを可能な場所に移動し、再びスローする。
- (2) ペナルティーとして1投プラスされる。

#### プレー不可能な場所にディスクが落下したとき

- (1) 落下した地点から最も近く、しかもゴールに近寄らないコース内から再びスローする。
- (2) ペナルティーとして1投プラスされる。

#### 障害物

- (1) コース上に固定され、もしくはコース上に必要な部分であり、プレーヤーのスローに障害となるものは、スローを容易にするために、プレーヤーによっていかなる形でも動かされたり、曲げられたり、変えられたりしてはならない。
- (2) 落ち葉、小枝、折れた枝、空缶、他のプレーヤーの用具、モーターバイクといったコース上に固定されていない、もしくはコース上必要でない物、永久的でない障害物は取り除くことができる。雨によってできた水たまりや泥も永久的でない障害物である。
- (3) 永久的でない障害物を取り除く際は、それを動かせばよいが、それを動かすことができない場合は、プレーヤーはゴールに近づくことなくマーカーディスクを新たに置くことができる。

#### 安全確認

- (1) ディスクの飛び範囲内に、プレーヤーや、他の人がいないことを確認してから、ディスクを投げるようにする。
- (2) 特に直接ゴールが見えない所では、必ずゴールの見える場所に移動し、確認をする。